

# あわら市【市内商店のICT化】

## (1) 地域課題分野

①交通、 ②防災、 ③環境、 ④健康福祉、 ⑤産業、 ⑥農林水産、 ⑦教育、 ⑧行政、 ⑨観光・文化、 ⑩その他

## (2) 課題

- ・市と商店との間でICT対応に対する意識の違いがある（市としては、最低限のメールでのやり取りやGoogle Map掲載などを進めていきたいが、商店としては、そもそもICT化に危機感を感じていなかったり、通常業務で手が回らないなど、必要性を認識いただけていない）。
- ・デジタルツールが急速に普及している状況をふまえて、商店のITリテラシー向上や心理的障壁をなくす必要。

## (3) 現状

- ・令和6年春の北陸新幹線芦原温泉駅の開業を控え、インバウンド需要が見込まれるなか、おもてなし向上の観点から、市はITツールの導入などを進めていく考え
- ・市内商店のICT化は進んでいない。通常のメールのやり取りやホームページ作成、Google Mapへの掲載など、リテラシーのレベルに差がある。
- ・インバウンドに対しては、市内飲食店の多言語対応を検討。（市内飲食店数139社 ※2016経済センサスより）
- ・インバウンドの中には、翻訳アプリなどを使って店員と会話する客もいるが、翻訳機能を知らなかったり、ITツールを持っていない客も存在。そういった顧客に対して、これまで市内飲食店などでは、多言語対応ツールなどを導入せず、長年の経験から、なんとか対応。ITツールの導入に対する商店の反応は薄い。

## (4) ステークホルダー

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
あわら市商工会	市内飲食店のとりまとめ
あわら市商工労働課	商工担当部署

## (5) 地域課題解決の糸口

- ・ツールやサービス導入提案の話だけでなく、まずは市内商店に対し、危機感や必要性を感じてもらえるようなアプローチをしていきたい。
- ・店側のITリテラシーの問題や心理的障壁を取り払うサービスや、アイデアがあれば提案してほしい。

## (6) 提供可能な資産・データ

- ・市内飲食店の紹介、仲介
- ・ECサイト運営を行う企業など、IT系に強みのある市内企業の紹介・連携の調整等